

7. 河川空間の利用状況

7-1 河川敷等の利用状況

7-1-1 河川敷地の利用状況

網走川の年間河川空間利用者総数(推定)を以下に示す。

平成15年度の利用者数の推計は、約58.0万人で、沿川市町村人口からみた年間利用回数は約7.3回である。

利用形態別では、スポーツ利用が約半数(48.6%)を占め、最も多く、次いで散策等29.7%、水遊び14.5%、釣り7.2%の割合であった。

利用場所別では、高水敷が68.6%と最も多く、次いで水面が19.4%、堤防が9.7%、水際が2.2%であった。

形態別に見ると、スポーツや釣り・水遊びといった割合が全て増加している。これは、近年の利用形態やレクリエーションの多様化といった河川利用が活発に行われているためである。

また、網走湖も利用した釣りやキャンプ、高水敷を利用したスポーツや散策等を主体とした活発な河川利用が今後も期待される。

区分	項目	平成15年度	
		推計値 (万人)	グラフ
利用形態別	スポーツ	28.2	
	釣り	4.2	
	水遊び	8.4	
	散策等	17.2	
	合計	58.0	
利用場所別	水面	11.3	
	水際	1.3	
	高水敷	39.8	
	堤防	5.6	
	合計	58.0	

7-1-2 高水敷の利用状況

高水敷きは、洪水時以外は未使用であるよりも洪水流通時管理面で支障の生ずることが無く、かつ、河川の公共用物としての性格にあった利用がなされる場合は、河川にとって好ましいものである。オープンスペースの少ない都市部では、河川空間の存在は貴重であり、河川敷地の緑地化、公園化を推進し、積極的に開放、利用を図っている。利用状況は表 7-1のとおりである。

表 7-1 河川敷地の占用状況(直轄管理区間)

(単位：千³m)

区間名	1号地				2号地				3号地				合計			
	官有地	民有地	不明地	計	官有地	民有地	不明地	計	官有地	民有地	不明地	計	官有地	民有地	不明地	計
指定区間外	34,477	61	0	34,538	1,687	28	0	1,714	7,270	144	0	7,414	43,433	233	0	43,666

(平成17年4月30日現在)

(単位：千³m)

区分 水系名	3号地											不明地	合計	
	官有地					民有地								
	既利用地	未利用地				計	既利用地				未利用地 (荒地)			計
		利用可能地		利用不可能地	計		宅地	田畑	運動場	その他				
そのまま 利用可能地		手を加えれば 利用可能地												
網走川水系	2,514	446	1,627	2,683	7,270	21	52	0	15	56	144	0	7,414	

(平成17年4月30日現在)

7-2 河川の利用状況

網走川は、網走湖を含み広大な河川空間を有しており、特に河川敷地は水面および背後地の諸条件により、その地域のニーズに適応した利用がなされている。

網走川感潮域では特殊堤のため高水敷はなく、網走湖岸は水面を利用した公園、広場、キャンプ場等が、中流部は広い高水敷を有し、採草放牧地として利用されている。美幌市街の都市地域では自然のうるおいとやすらぎを得られる重要なオープンスペースとして、広場、公園緑地等多目的に利用され、また、各種イベントも実施されている。

河川の利用については、網走湖畔にキャンプ場や多目的スポーツ施設が整備されており、春期から秋期にかけては、カヌーやボート遊び、スポーツ、散策等に、湖が一面氷に覆われる冬期はワカサギ釣りやスノーモービル等四季を通じて広く利用されている。さらに、網走湖畔や網走及び美幌市街地付近の河畔公園では様々なお祭り等の河川空間を利用したイベント等も行われている。



網走川まつり(網走市)



網走川まつり(網走市)



美幌牛肉観光まつり(美幌町)



北海道ドラゴンボート競技大会(網走湖)